

## わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H30. 2. 3 20:00~21:15)

会場(千代川町自治会館)

テーマ(安心、安全な千代川町のまちづくりについて)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	市道川関小林線は、交通対策をしていただいているが、公安委員会の速度規制など、なかなか進捗しない。道路が狭く、電柱なども自然のデバイスになってはいるが、ゾーン30の取組みなど早急な対策が必要である。	篠町では事故があり交通対策ができています。しかし事故が起こってからでは遅い。根本的に国道9号の渋滞対策を国にも要望していかねばならないが、引き続き自治会として、ゾーン30の強い要望がある旨の声を上げていきたい。	総務文教	○		
			産業建設	○		
2	国道9号が慢性的に渋滞している。桂川右岸道路の必要性が大きい。		産業建設	○		
3	千代川町北ノ庄から国道9号に出る際、京都縦貫自動車道の信号と国道9号の2つの信号を抜けるのに渋滞する。府道宮前千歳線の鳴滝工区が完成すると、ますます交通量が増える。今でも2つの信号が待てず、縦貫自動車道の側道から湯井に抜ける車や千々川堤防を走る車、対向車線を通して右折する車などがあり、大変危険である。このような交通量の状態を把握しているのか。	堤防を通過している車があることは把握していなかった。軽トラックだけしか通さないなど、何らかの対策が必要である。対向車線を通る車があることについては、自治会から警察に要請し、取り締まりをもらうことも効果的ではないか。	産業建設	○		
4	ゾーン30になっても事故が起こらないとは限らない。事故が起こる前に1日でも早く安全な道で通学させるべきである。車の通らない農道を通学路として認めるべきではないか。	農道を通学路にするには、交通安全以外の安全面も大切である。通学路の決定は、保護者をはじめ、地域の人、自治会など、地元の総意で最終的には学校が決定する。ぜひ、地域合意を目指していただきたい。また、農家の理解も必要である。	総務文教	○		
			産業建設	○		
5	議会だよりを見ていると、議案に反対ばかりしている議員もいるが、反対意見は何も反映されないのか。	反対者の意見も、時によって反映してくることがある。その内容によっては、長時間かけて実現してきたこともある。	議会運営委員会	○		
6	千代川町にはコミュニティバスがない。車を持っていない若い人もおり、子育て支援のひろばへの往復が大変で、親子で家にこもってしまうという声も聞く。高齢化する中、車がなくても、もう少し生活しやすくないのか。	そのような要求が市内各地にあるのを市は把握しているが、公共交通機関との競合など、条件をクリアする必要がある。自治会で検討し、声を上げていってはどうか。	公共交通	○		